

レンジフード取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
壁スイッチ仕様・電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されている物は、それに従って電気工事を行ってください。

取り付け上のお願

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な資格者が行う必要があります。
 - 大工工事（設置のための下地工事等）
 - 配線工事（コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等）
 - 電気工事（ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等）
 流通業者（販売店）を通じて施工・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「取付・取付」を区別して行ってください。
- 調理室の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。調理機器はレンジフードの前面より手前にはみだり設置しないでください。排気効率が低下します。
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを確保してください。火災・故障の原因になります。
- 居室外壁の排気口に取り付け可能なパイプまたは排気口の直径は400mm以内（50Pa以下）のものを使用してください。排気効率が低下する場合がありますので使用しないでください。
- ダクトの不燃処理について
 - ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の耐火連続大気不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - 施工要領は、メーカーの「標準施工要領書」または「取付説明書」に従ってください。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 非常に長いダクトや短いダクト、あるいは幅柄に適合しないダクトは排気効果をいじりすぎると、低圧下となり騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取り付け前の木組に、取り付け用木が埋まらぬように注意してください。本体の取り付け用木は、45mm径のものをご用意しております。また、下地大気不燃認定品を確保し、取り付け用木は、石膏ボード等の壁を確保し、取り付け用木が確実に木部に届くことを確認してください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上で取り付けしてください。湯沸器の上には、湯沸器の取付位置を確保し、約400mm程度の空気取入口を確保してください。
- 建物が閉塞されている場合は、必ず約400mm程度の空気取入口を確保してください。
- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集されず、お台所の全体排気のために、お台所の天井裏に設置した場合は、より早くした換気ができます。

取り付け前の調査と準備

- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。異常動作してけがをすることがあります。
 - レンジフードは、薄板の金属部（室内ラック等）と接続しないよう取り付けください。薄板の場合、発火するおそれがあります。
 - 本体とダクトは、可燃物の間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと。火災などの原因になります。詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください。
 - 排気工事をされる場合は建築基準法（同法）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事を行うこと。火災などの原因になります。
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないでください。薄板の場合、発火するおそれがあります。
 - レンジフードの壁への埋め込みはしないでください。薄板の場合、発火するおそれがあります。

- ### 注意
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと。落下によりけがをすることがあります。
 - 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること。鋭利の刃や角がけをするおそれがあります。
 - 周囲温度が40℃以上になるところには、火災・故障の原因になります。

- ### 1. 取り付け前の強度確認
- ……製品を吊る強度を確認する必要があります。
- | 製品質量 | 製品質量 |
|-------|--------|
| 600mm | 13.0kg |
| 750mm | 14.0kg |
| 900mm | 15.0kg |
- ### 2. 取付位置の確認
- 取付位置が20mm以上の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。
 - 取付位置が20mm以上の場合には補強板の必要はありません。
- ### 3. 標準取付方法
- 排気工事に対応した取付準備の準備が事前に必要です。
- ### 4. 電源コンセント・ブレーカー
- 電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（取付位置 100Vコンセントは、JIS C8333 2極差込プラグ型（15A25V）を使用してください。）

安全上のご注意

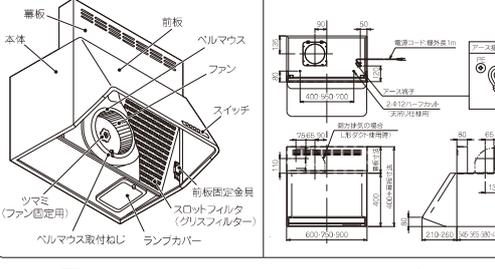
取り付けの前には、「安全上のご注意」をよくお読みください。正しく取り付けを行ってください。ここに示した注意事項は、取付を安全に行き、取り付けが済んだ後の異常な動作を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、異常な動作の発生や損傷の拡大などの被害を防止するために、誤った取り扱いは必ずしも発生しない限り、必ず「警告」の項目に記述されています。必ず「警告」の項目に記述されている限り必ず安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。

- ### 警告
- 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- ### 注意
- 人が傷害を負う可能性や身体的損害の発生が想定される内容。
- お守りいただく内容の端書きの表で説明しています。

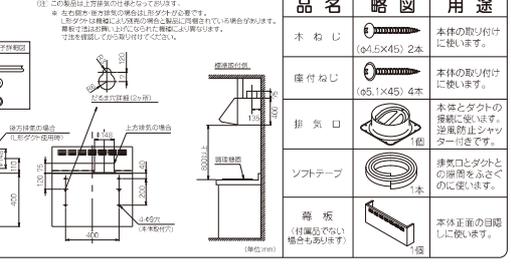
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。異常動作してけがをすることがあります。
- アースを確実に取り付けること。漏電や感電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取り出し（ダクト）により十分換気されることを確認してください。排気口が室内に空気を送り、一酸化炭素や有害なガスを発生することがあります。
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同法）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事を行うこと。火災などの原因になります。
- レンジフードは、薄板の金属部（室内ラック等）と接続しないよう取り付けください。薄板の場合、発火するおそれがあります。
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと。落下によりけがをすることがあります。
- 周囲温度が40℃以上になるところには、火災・故障の原因になります。
- 交換100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事を行うこと。誤った配線工事は感電や火災の原因になります。
- メタルラック、ワイヤラック、または金属製の棚の取付位置は、必ず十分換気されることを確認してください。排気口が室内に空気を送り、一酸化炭素や有害なガスを発生することがあります。
- 本体とダクトは、可燃物の間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと。火災などの原因になります。詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください。
- レンジフードの壁への埋め込みはしないでください。薄板の場合、発火するおそれがあります。

- ### 注意
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
 - レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実に行うこと。落下によりけがをすることがあります。
 - 周囲温度が40℃以上になるところには、火災・故障の原因になります。
 - ファンや部品の取り付けは確実に行うこと。落下によりけがをすることがあります。
 - 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること。鋭利の刃や角がけをするおそれがあります。
 - 浴室など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。火災・故障の原因になります。
 - 浴室など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。火災・故障の原因になります。
 - 周囲温度が40℃以上になるところには、火災・故障の原因になります。

各部のなまえ



製品寸法図



付属品

品名	略図	用途
本ねじ	(φ4.5×45) 2本	本体の取り付けに使用します。
座付ねじ	(φ5.1×45) 4本	本体とダクトの接続に使用します。防錆防止シロップが付きまします。
排気口	1個	本体とダクトとの接続部分に使用します。
ソフテープ	1本	本体正面の隙間に使用します。
ソフ板	1枚	本体正面の隙間に使用します。

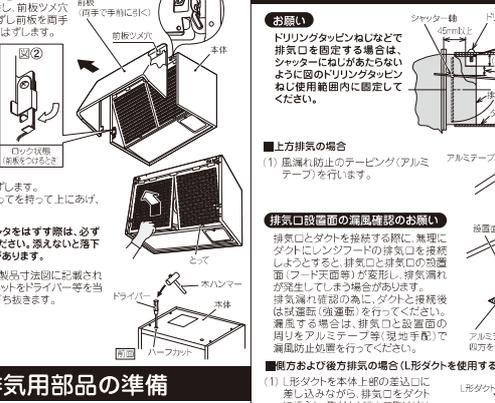
1. 付属品の確認

- ### 注意
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること。鋭利の刃や角がけをするおそれがあります。
- 梱包箱から付属品を取り出し、右側の付属品一覧により不足がないか確認します。
- お願 取り付け作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

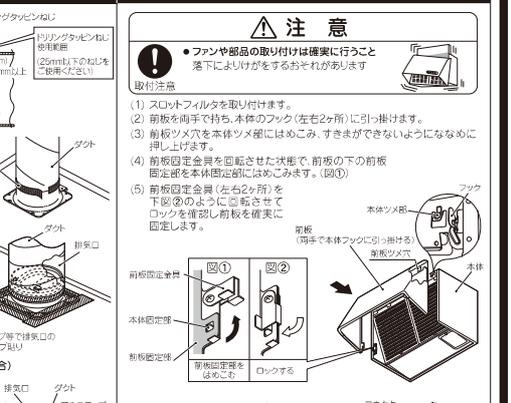
2. 排気方向の決定

- ### 警告
- メタルラック、ワイヤラック、または金属製の棚の取付位置は、必ず十分換気されることを確認してください。排気口が室内に空気を送り、一酸化炭素や有害なガスを発生することがあります。
 - 排気工事をされる場合は建築基準法（同法）および消防法などの関連法規に従って法的な資格者が工事を行うこと。火災などの原因になります。
 - 本体とダクトは、可燃物の間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと。火災などの原因になります。詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください。
- ### 注意
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。火災・故障の原因になります。
 - 周囲温度が40℃以上になるところには、火災・故障の原因になります。

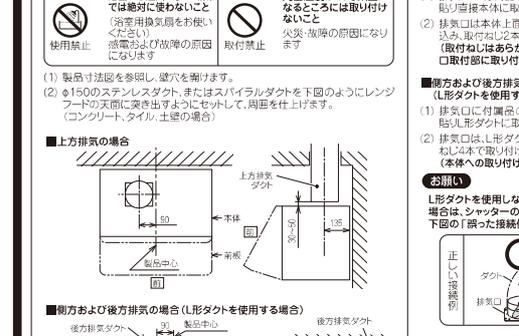
2. ダクトと排気用部品の接続



9. 組み立て



4. 排気用部品の準備



5. 本体の取り付け



7. 電気配線

- ### 警告
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。異常動作してけがをすることがあります。
 - アースを確実に取り付けること。漏電や感電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。
 - 交流100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因になります。
 - 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な資格者が工事を行うこと。誤った配線工事は感電や火災の原因になります。
- ### お願
- 電源は専用のコンセント（2極差込プラグ型 15A・125V）およびブレーカーを確保してください。
 - コンセントは、電源コードの長さを考慮して設置してください。

3. 本体の準備



6. ダクトと排気用部品の接続



10. 試運転

- ### 注意
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと。けがをすることがあります。
- お願 電線のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各通風の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動などが発生しないことを確認してください。
- 室内の排気口から排気されていることを確認してください。
- 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること。鋭利の刃や角がけをするおそれがあります。

8. 幕板の取り付け

